緑のまちづくり

ひたちなか市
No. 45

GREEN CITY・HITACHINAKA
2024年3月

市では、緑豊かな街並みを守るため、
巨木、古木等を保存樹木として指定し、
保存にかかる費用の一部を助成しています。
今回は、令和4年に指定された
2本の保存樹木をご紹介します。

鹿島神社の保存樹木
～風土、歴史、文化を伝える御神木～

ひたちなか市津田にある鹿島神社境内のスダジイとケヤキが、令和4年に市の保存樹木として指定されました。スダジイの樹高は約17m、幹周は約4.9mとなっており、朽ちている中心部分を周りの樹皮が覆っていることが確認できます。ケヤキの樹高は約30m、幹周は約5.5m、樹齢は500年ほどの古木ですが大変樹勢が良く、枝葉をのびのびと伸ばしており、地域のシンボルとなっています。

ケヤキ

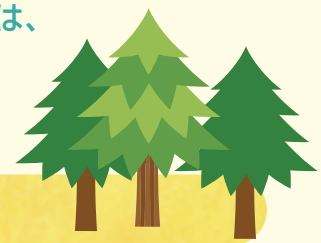
保存樹木の管理は、毎週日曜日に氏子代表、氏子会員、ボランティアの方々の計10～20名で協力して行っています。市の保存樹木に指定されて以降は、参拝者が以前より多くなり、参拝の時に掃除を手伝ってくれる方もいるとのこと。また、年に数回造園業者に樹木の状態を確認してもらい、樹勢が衰えないようにしています。

鹿島神社氏子代表の川又さんは「地域の方々の交流の場としての一助になればと思い、神社の啓蒙活動を続けていますが、神社の御神木が保存樹木に指定されてからは、これまでよりも地域の方から神社の存在を認識してもらえるようになりました。今後も自分たちの住む地域の風土、歴史、文化を伝えるとともに、地域の方々と協力しながら鹿島神社の御神木を津田地区の遺産として後世に伝えていけるよう、精進していきたいです。」と話されていました。

スダジイ

あなたの街の「公園等里親団体」を紹介します

市では、森林ボランティア団体と公園等里親協定を締結し、連携しながら
市内中心部にある親水性中央公園の環境整備に取り組んでいます。今回は、
公園等里親団体として活動を行っている団体をご紹介します。



いばらき森林クラブ

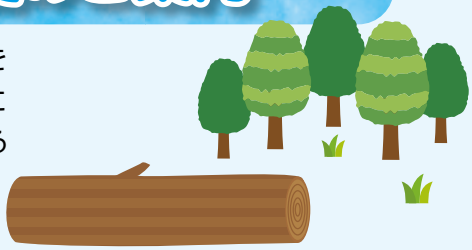
いばらき森林クラブは今年で創設から27年目を迎えるボランティア団体で、73名の会員で活動しています。会員の最高齢が89歳、最年少が15歳と年代は幅広く、一般企業などを定年退職した方々を中心に活動しており、県内の17か所で、ヒノキ林の間伐、里山整備、公園等の整備、間伐材の利用などに取り組んでいます。

親水性中央公園では、春から秋は里山の下刈りを、秋以降は枯損木や不要木の伐採などの森林整備を行っており、斜面での下刈りや樹木の伐採は特に危険が伴うため、安全に配慮し取り組んでいます。

いばらき森林クラブの五十嵐さんは「管理が行き届いた里山や公園を見た際の、活動の成果を実感できる瞬間や、公園の来場者から感謝の言葉をいただいた時に、活動を続けてきてよかったと感じ、その感動が会員たちの活力となっている。今後も、たくさんの森林愛好者が集まり、自然とのふれあいを深めるとともに森林整備や関連する活動を通して地域へ貢献していきたい。」と話されていました。

ひたちなか市公園等里親制度のご案内

里親団体は、チェーンソーや刈払機による樹木の間伐等の林床整理を行い、今ある森林を良好な形で保全し、豊かな自然を守ることを目的に活動しています。里親団体として公園等の環境整備にご協力いただける方は、公園緑地課までお問い合わせください。



あなたの街の「花壇づくり団体」を紹介します

～西中根女性セミナー～

西中根女性セミナーは、西中根にお住まいの女性が中心となり創設された団体で、地域の環境問題など様々な学習をとおして見聞を広めるとともに、会員間の親交を深めるため自治会の各種行事などで活動しています。このセミナー活動の一つで、「みんなが通る場所に季節の花を植えることで、地域に安らぎをもたらし、潤いのある故郷づくりを推進する」という思いから、西中根地区の道路植樹桝への花植えを行っています。具体的には、勝田病院前の道路から長堀小学校東交差点までの通称フラワーロードと、一中地区コミュニティセンター前の植樹桝に、年間をとおして2,800もの花苗や球根を植えており、4月にはチューリップ、6月にはマリーゴールド、11月にはパンジーなど年間をとおして季節の花々が咲き誇り、地域の風景を彩っています。

西中根女性セミナー代表の伊藤さんは「花植え活動をとおして、同じ志をもつ地域の仲間とめぐり会えたことが活動を続けてきて一番よかったところです。花植え活動を行っているフラワーロードと1中コミセン前の道は地域の方からも好評で、みなさんの散歩コースとして親しまれています。少しずつメンバーの高齢化が進んでいるのですが、今後も地域のみんなで無理なく楽しく活動を続けていきたいと思っています。」と話されていました。

花壇作りお役立ち情報

ひたちなか市市民憲章実践部会では、市民団体が道路の植樹桝や花壇など、日常的に人の目に触れやすい公共施設などへ花を植える場合、その一部について助成金を交付しています。詳しくは公園緑地課までお問い合わせください。

親水性中央公園にサクラの苗木をご寄贈いただきました

勝田ロータリークラブ創立50周年、ひたちなか市誕生30周年を記念し、2月7日に親水性中央公園において、サクラの苗木20本が市に寄贈され植樹が行われました。植樹されたサクラは、近年「ソメイヨシノ」に代わる品種で、病気に強く花付きの良い「神代曙（ジンダイアケボノ）」です。

勝田ロータリークラブの村邊会長は、「記念する節目の年に植樹できたことは感慨深い。苗木が大きく育ち、将来ひたちなか市の桜の名所になってくれれば嬉しい。」と話されていました。

「記念樹」を配布しています

市では結婚・誕生・新築された方へ記念樹を配布しています。配布の対象となる方には、「令和6年度記念樹配布のご案内」を配布していますので、期限（令和7年1月10日）までに、希望する樹種をお選びいただき、お申込みをお願いします。詳しくは公園緑地課までお問い合わせください。

結婚

ハナミズキ

ガジュマル（室内鉢植え用）

誕生

ハナモモ

ブルーベリー

新築

ライラック

オリーブ

生垣の設置に助成します（※必ず着工前にご相談ください）

住宅地などに生垣を設置する場合、費用の一部を助成しています。助成対象の条件など、詳しくは公園緑地課までお問い合わせください。

○ お問い合わせ ○

ひたちなか市 公園緑地課

〒312-8501
茨城県ひたちなか市東石川2丁目10番1号

電話
(029)273-0111〔内線 1383、1384〕

VEGETABLE OIL INK 再生紙を使用しています。

皆様の善意が緑のまちづくりを推進しています

市では、緑地の確保や市民の緑化活動の助成などに活用することを目的に「緑のまちづくり基金」募金箱をコミセン、図書館、体育館などの公共施設 29 施設に設置しています。

この基金は、市の資金と市民の皆様からお寄せいただいた心温まる善意を積み立てています。今年度は次の方々からご寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

（敬称略）○工機労働組合　○ふるさと納税（目的：緑地保全・緑化推進）
○緑のまちづくり基金募金箱　市内29箇所